

広報よもぎた

内容

- 陸奥湾グリーン作戦……………2～3
- 郷土の歴史・蓬田大館は鎌倉期の城?…4～6
- 秋の全国交通安全運動……………7
- 学校ニュース・蓬田小学校体験学習……8～9
- くらしのページ・安全で明るい出かせぎを
保健婦さんの相談室・行政相談所開設…10～11
- 話題の広場・村民祭テーマ決定……………12～13
- 談話室・ヤングメッセージ・母親クラブ通信
むらの生活誌・戸籍の窓口……………14～16

NO. 140



やっと出穂……生育にばらつき

登熟不良が心配

四月から六月までの不順天候で代枯れが続出。7月以降の高温でやっともち直したものの、生育遅れを回復できないまま、出穂の遅れにつながりました。

九月一日現在、やっとのことで九〇割が出穂。アキヒカリが少し遅れています。今後の天候しだいで、作柄回復の可能性はあるとしても、全般に穂ぞろいが悪く、生育にばらつきが目立ちます。

八月二十三日の台風十五号は、遅れ気味の穂がようやく出始め、登熟期に入ろうという段階に襲来しました。タイミングとしては最悪です。今後登熟不良による品質低下が心配されています。

8月・9月
1981

汚染ルート解明へ

陸奥湾は、ホタテ貝を中心とした沿岸漁業の宝庫です。全国の内湾の中でも、その広さ、海の生産力、魚種の豊富さでは代表的であり、水産増殖・養殖の場として最適と認められています。

現在、この豊かな海を生活

基盤とする蓬田漁協の組合員は約七十人。ともに従事する家族を含めた漁業人口が、約二八〇人。昨年のホタテ貝生産量は一千百六十トン。金額にして、約三億二千九百万円になります。

この海が年ごとに汚れてき

ました。陸奥湾沿岸市町村が都市化、近代化されてくることにより、人間が汚しているのです。海岸に打ち寄せられるおびただしいゴミの山。海底に堆積した廃棄物。汚染の進行が、ナマコ、貝類の生息場や産卵保育に影響を与えな

い訳がありません。こうした事態の中で、七月十五日蓬田村を含む陸奥湾沿岸の六市町村が、県の委託を受け大清掃作戦をくりひろげました。沿岸や海底のゴミ分析、潜水調査などで、汚染の元凶を追求しようというものです。

二十五隻の清掃船が出漁。

クリーン・アップ作戦の当日は、朝から十時先も見えない深い霧でしたが、午前七時には組合員全員集合し準備完了。ゴミの分類方法や清掃区域の説明と確認。漁民にとっては生活に連がるたいせつな海だけに真剣です。

蓬田漁協からは霧の晴れた午前九時過ぎ、二十五隻の清掃船が出港。ハツサグ網を使い、魚ならぬ海底のゴミ引き漁を展開。陸上では、漁協婦人部一五〇人が三本の河川と海岸一帯のゴミ回収にくり出しました。

ゴミはへ木片類・ビニール類・缶類・貝殻・廃漁具類・廃プラスチック類の五種類と自転車や大型家庭電気製品、廃船や流木などの粗大ゴミに別け、汚染解明の手がかりにしました。

さし網に影響するプラスチック

海底清掃では、河川の沖百メートル地点（浅海地域）と五百メートルのホタテ貝養殖地域を網引きしました。

河口のすぐ沖では木片類が多く、七月六日の集中豪雨が

クリーン作戦!





見逃せない生活排水

一般家庭の生活排水や、事業所からの汚水流しが陸奥湾を汚す大きな原因と見られています。そこで今回の清掃調査は、湾内だけでなく、湾に流れこむ河川も対象になりました。

当村では、広瀬川・瀬辺地川・阿弥陀川の三本が調査河川です。調査区域は河川口、

河川の両岸、河川の左右に広がる海岸地帯。住居地域の河川周辺は、生活排水からと思われるゴミが積み重なっています。特に生活用品のこわれたプラスチック類、農業用ビニールの大量投棄がめだちます。河川の両岸には缶類やトタン、壊れた自転車、大型冷蔵庫などが捨てられている状態です。

「海を汚さない」認識を

回収されたゴミを分析すると、明らかに生活サイドから出た汚染物質が多い。プラスチック製品やビニールなど、合成樹脂は腐らないので河口や海岸にどんどん蓄積する。やがてこれが、チリも積もれば山となります。

沿岸住民の生活排水による汚濁が目されるなか、下水道

の整備も必要だが、近年リンを含む合成洗剤による汚染が真剣に取りあげられています。陸上交通の発達していなか

った遠い昔、人も産業も文化も海を渡って往来し、私たちの地域にもたらした影響は大きいと考えられます。かけがえない「ふるさと」の海を、私たちの手でこれ以上汚さないという強い認識と決意をもつ時期が来たようです。

陸奥湾クリ

●ゴミ回収量

清区	掃分	調査面積	調査地点数	木片類	ビニール類	缶類	貝漁	殻具	廃プラスチック	計	その他
海清	浜掃	m ²	4	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	冷蔵庫・一輪車 自転車・洗濯機
海清	底掃	36,000	18	9.0	3.8	6.2	4.5	3.5	27.0	27.0	ヒトデ・カニカゴ サシ網
河清	口掃	81,000	3	16.5	59.1	27.1	2.6	18.5	123.8	123.8	自転車 13.5台 洗濯機 2台 タイヤ

影響したようです。そのほか缶類、ビニールがめだちました。東風が吹くと廃棄物がとくに寄り、さし網にプラスチック容器がからまつたり影響を与えているという話です。

郷土の 歴史

— No.16 —

中世の城郭として、本県屈指の規模をほこる蓬田大館。空白といわれる中世津軽の歴史を見直す動きが高まる中で、七月十二日から八月一日まで「蓬田大館第一次調査」が実施されました。

今回は、村越潔弘大教授を委員長とする調査委員会を組織。教育委員会・文化財審議委員会・地元郷土史研究会・金沢大学考古学研究室が中心となり発掘を進めました。現地の指導と指揮は、金沢大学の佐々木達雄助教です。

発掘場所は、蓬田八幡宮の南西に広がる郭の平坦部一か所と堀三か所。出土遺物は縄文時代の土器や石器・土師器・須恵器・擦文土器・中国産の白磁と青磁。鉄製品として鋤・短刀・鉞が発見されました。このことから、この一角には縄文・平安・鎌倉時代に人々が生活していたことが判明。堀や土塁をめぐらした多くの郭からなる城であることもわかりました。

後潟の尻八館は室町時代の遺跡ですが、蓬田大館はそれより古い鎌倉時代の館という見方が強くなっています。しかも全体の規模が大きいだけに、室町・戦国時代の城も今後の調査で出てくるのではないかと予想され、継続調査に期待が寄せられています。

最終日の八月一日には、秋田、岩手、北海道からも中世遺跡の研究者がかけつけ、現地見学会を盛大に開きました。



大館は鎌倉期の 平城か？

… 先住民と武士団たち …

第1発掘場

傾斜のきつい葉研堀

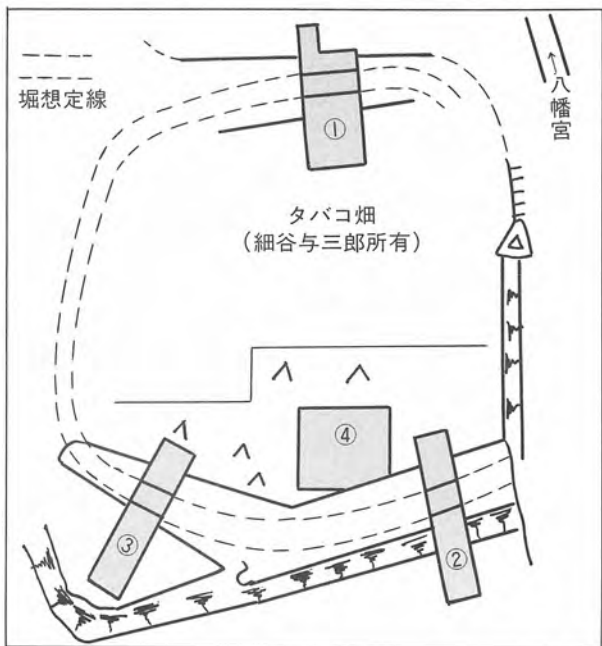
この地点は現在の地形から、南に広がる郭を囲むような堀が予想された。そこで、堀と思われる部分を直角に切るトレンチ（幅五^{メートル}、長さ十三^{メートル}）を設定。地表を覆う表土は厚さ約二〇^{センチ}の濃い褐色土でやわらかい。以下の層は堀が順次埋まったようすを示している。

堀の深さは二・八^{メートル}、幅約七^{メートル}で斜面の傾斜はかなりきつい。堀の内側には幅約三〇^{センチ}、深さ約二〇^{センチ}の溝が検出された。溝の性格はよくわからないが、柵が存在した可能性がある。

堀の中から全長三十三^{センチ}、幅約二^{センチ}の短刀・鉞・支脚・土師器・陶器片が出土した。とくに表土と短刀の出土した黒色土層に遺物が多い。

問題点は、堀の底付近にある焼土と炭の性格・堀の内側にある小溝の機能は何か、短刀や鉞が出土した年代はいつか、堀の外側に広がる平坦面にも郭があるかどうかである。

▼上空から見た蓬田大館
(撮影・細谷忠正)



第2発掘場

農業技術を示す鋤

大館遺跡南側に三段の階段状になった場所がある。ここは南北十五^{メートル}、幅一・五^{メートル}で掘った。

発掘の結果、幅五^{メートル}、深さ二^{メートル}の堀が発見された。いちばん下段は水がわき、以前は川か水堀と想像される。遺物は上段と中段から土師器・須恵器・擦文土器・縄文土器が出土している。

堀の底面に近い粘土層から、鉄製の鋤が完全な形で出土した。当時の農業技術を知るうえで、重要な発見である。

●葉研堀…V字形に、底が狭くなった堀。

●郭(くるわ)…城やとりでを守る囲い。または囲いのあるところ。

第3発掘場

大小二本の堀を確認

南側の堀の状態を確認するために、北側のタバコ畑から南側の水田方向に向けて二十二日の長さで掘った。

ここからは大小二本の堀が発見された。内側の大きな堀は、幅九・五メートル、深さ二・三メートル。外側の小さな堀は幅二・五メートル、深さ一・六メートルである。内側の堀はV字形をした葉研堀であり、外堀の形はU字形である。

外側の堀の堆積をみると、内

堀と外堀の間には土塁があったことがわかる。表土や堀の中からは縄文土器・土師器・須恵器が出土している。

第4発掘場

土着民と武士団

この発掘区（東西十メートル・南北十メートル）は堀で囲まれている郭の南端部に、建築物の遺構があるかどうか設定した。

表土をはくと、黄色土と灰まじりの土が現われた。これを徐々にきれいにはいでいくと、平面が長方形をした擦文の住居跡

とピット（建物の柱の穴）が検出された。ピットの一つに炭を底に含む柱穴がみられる。

この発掘区の出土遺物は、縄文土器のみみられるが、土師器・擦文土器が主である。

擦文文化の遺跡と中世の城郭や居館跡が複合状態でみつかることは、津軽半島によく見られる現象である。大館のすぐ近くには、擦文文化で知られる小館遺跡があり、古くから土着の人々が生活していたことがわかる。中世になって入り込んだ武士団が、その先住民の集団とさまざまな形で関係を持たざるを得ないはずだ。先住民を追い払うよりも、厳しい天候、不慣れた土地ではむしろ彼らの協力が必要だったろうし、豊かな産物は経済と文化を支えたとはいえない。

ナゾに包まれていた蓬田大館の歴史の一端が見えてきたところだ。現在大館のすぐ近くまで住宅開発が進んでしまった。周辺の地形が著しく変わらないうちに継続調査を行い全貌を明らかにすることが急がれます。

自分がかどんなに安全運転していても、いつ追突されたり、対向車にぶつかってこられたりするかわかりません。あるいは、ちょっとした自分の不注意で事故を起こすこともありえます。

もし事故が起きたとき、我が身を守ってくれるのは、シートベルトです。シートベルトを着用しているドライバーの死亡事故は、時速九十六キロを越えてはじめて発生し、着用していな

いドライバーの死亡事故は、十九・二キロという自転車なみの速度でも起きます。このデータは、衝突したときの衝撃がいかに大きいかを物語り、同時にシートベルトの効用も示しています。

交通事故による死傷者の減少と被害軽減のため、一般道路でもシートベルトの着用を習慣化させましょう。

交通事故で困ったときは

県では交通事故にあり、損害賠償額の算定・請求・示談方法などで困っている人々のために交通事故相談所を設けています。子備知識がないため苦しんだり、泣き寝入りしないように、ぜひ相談所を利用ください。

相談所設置場所
青森市新町二丁目
県社会福祉会館六階
電話（22-1111）
日曜・祝祭日を除く毎日。
午前九時～午後四時。
土曜日は正午まで

相談方法

面接相談のほか、文書や電話による相談にも応じます。相談内容は複雑な要素が含まれているものが多いため、なるべく面接相談をおすすめします。

シートベルトは命綱

自分がかどんなに安全運転していても、いつ追突されたり、対向車にぶつかってこられたりするかわかりません。あるいは、ちょっとした自分の不注意で事故を起こすこともありえます。

もし事故が起きたとき、我が身を守ってくれるのは、シートベルトです。シートベルトを着用しているドライバーの死亡事故は、時速九十六キロを越えてはじめて発生し、着用していな

いドライバーの死亡事故は、十九・二キロという自転車なみの速度でも起きます。このデータは、衝突したときの衝撃がいかに大きいかを物語り、同時にシートベルトの効用も示しています。

交通事故による死傷者の減少と被害軽減のため、一般道路でもシートベルトの着用を習慣化させましょう。



●9月21日～9月30日

秋の全国交通安全運動が始まります



村ぐるみで取り組もう “交通安全”

私たちの村は南北約九キロにわたり、国道二八〇号線が縦貫しています。青森市への通勤圏内でもあり、朝夕のラッシュはかなりのものです。道幅も狭いうえに、津軽やまなみライン（蟹田～今泉）開通以来、中里、金木、市浦、小泊方面からの交通量もグンと増えました。青函トンネル工事前の資材を運ぶ大型車両も見逃せません。

このような状況の中で、交通事故ゼロ三千日を記録したことは、村民みんなの努力と協力があってこそその成果だといえます。

九月二十一日からは、秋の全国交通安全運動が始まります。蓬田村の交通事故に関する調査によると、村外での事故がめだつていきます。「事故のない村、事故を起こさない村」を目指すために、今一度心を引きしめましょう。

**家族の話し合い
たいせつに**

ひとつの家庭の中には、運転者も歩行者も、自転車利用者もさまざまな立場の人が集まっています。子どもや老人をよく、「交通弱者」と表現しますが、運転免許を持つ人が増えている今では、一家の中に、弱者と強者が共存している状態です。

「わが家のお父さんやお兄さんの運転を採点すれば、何点になるか。道を歩いてヒヤッとした経験はないか。お母さんのミニバイクは安全か。自動車で来たお客さんに酒を進めたりしてないか。」など、交通安全は私たちの身近な問題です。ぜひ一家団らんの話題として取りあげてみましょう。

**ルールとマナーを
身につけよう**

当村には、蓬田村交通安全対策協議会を核として、交通安全協会・交通指導隊・交通安全母の会など大人の組織と、小学五年・六年生で組織する交通少年団があります。

これらの団体は、地域全体の交通安全意識を高めるために、先頭に立って実践活動を展開しています。街頭指導・広報看板の設置・マスコット人形の作成配布や、特に交通安全駅伝大会は、青年団や子供会と一体になつてくりひろげる大キャンペーンです。

村では子供たちが交通ルールとマナーを学ぶ場として、交通公園を設置しました。中沢児童公園に隣接したこの公園には、踏切しや断機や警報機・四つ角式信号機がとりつけられ、本格的交通安全教育が実施できます。

保育所・幼稚園・小学校では、道路を歩くときの注意点、横断するときの左右の確認、自転車の正しい乗り方など基本的習慣を身につける交通安全教室に利用しています。

これらの交通安全教育が、やがては社会の一員としても、ルールとマナーを守る人間づくりにつながることを目指しています。

蓬田村交通事故発生状況

	件数	死者	傷者
54年(1月～12月)	18件	0人	19人
55年(1月～12月)	15	0	19
56年(1月～6月)	9	0	10
●9件中、他市町村の人が起こした交通事故			7件
●蓬田村民が他市町村で起こした交通事故			10件

蓬田小学校 いきいき 体験学習

…いもほり・いも煮会…



8月25日、蓬田小学校では全校児童が参加し、じゃがいも掘りと、収穫を感謝するいも煮会を開きました。いもは農家から借りた畑に、春先植えたものです。

畑づくりは全校児童を部落別に班編成しています。しかも1年生から6年生までがいっしょのグループになるわけで、上級生は下級生の面倒をみながら、自分たちの班をまとめ、多彩な行事を運営していました。

過度の受験戦争と詰め込み教育に対する反省から生み出された“ゆとりの教育”も今年で2年めになります。蓬田小学校では、人間性豊かな児童生徒を育てるために〈体力増進の活動・地域の自然や文化に親しむ体験的活動〉をとり入れています。

いも煮会での校長先生のお話には、“火を使う人間”のことが出ました。生きるための技術の一つ“火の使用法”、自然の恵み、黒い土の感触、根をはった草木の強さ、やけに大きかったミミズの生体。子どもたちがたくさんのことを体で感じとった一日でした。

▶ やつと煮えたぞ。みんな、皿用意しろ。



いもコンテスト

●総合収量の部

1位	35.2kg	中沢
2位	29.9kg	広瀬
3位	29.7kg	長科・高根合同
	28.8kg	蓬田
	27.2kg	阿弥陀川
	24.0kg	瀬辺地
	22.6kg	郷沢

●特大いもくらべの部(いも1個の重さ)

1位	400g	長科・高根合同
2位	300g	広瀬
3位	200g	阿弥陀川
	185g	郷沢
	170g	蓬田、瀬辺地
	155g	中沢

8.25
晴れ

▼いもほりの前の草取りです。



▼どこの班が早く煮えるか競争しよう。



安全で男でい出かせを

● 昨年の凶作の影響もあり、出かせぎや、日かせぎに出る人が蓬田村でも増えています。仕事先でのケガや賃金トラブルのないように、出かけるときは次のことに注意が必要です。

正しい手続きをしてから

● 公共職業安定所、市町村役場に行つて、自分にあった仕事場を決めるように。もし事故がおきても、早く解決します。

● 出かせぎ労働者手帳を必ず持つていくこと。自分の身分証明書になります。

● 健康診断を受け、自分の体の調子を確かめてから出かけましょう。絶対無理はしないこと。

● 知っている人が、そろつて同じところに行くように。何かあつても、お互い相談したり助け合うことができます。

● 仕事場についていたら、事業所の責任者に賃金や残業などの労働条件が職業安定所の話と合っているか確かめるように。確かめたら、出かせぎ労働者手帳に書いてもらふこと。

● 働く場所・事業所をかえたときは、必ず新しい住所を家族と役場に知らせるように。役場からの郵送物（広報紙など）が、あて先不明で帰ってきます。

小さな掛金・大きな安心

青森県出かせぎ協会では、昭和五十四年から、出かせぎ労働者事故見舞金制度を設けています。

これは、出かせぎをする人が掛金を出しあい、事故にあつたとき助け合うものです。

● 加入申込み

役場・農林水産課で受け付けています。

● 掛金

一人、年間六〇〇円（県と市町村がこのほか一人、年間八〇〇円負担しています）

自分はもちろん、留守家族の幸せのためにも、ぜひ加入しましょう。



種類	事故・災害の程度	給付額	
死亡見舞金	出稼中（出発から帰宅まで）の死亡、ただし、一時帰省中の死亡を除く	500,000円	
傷病見舞金	出稼中の負傷又は疾病で休業療養を要するもの	6月以上であるもの	80,000円
		3月以上6月未満であるもの	60,000円
		1月以上3月未満であるもの	50,000円
障害見舞金	出稼中の負傷又は疾病による障害で通常の就労を不能とする程度のもの	200,000円	
火災見舞金	加入者の留守宅の火災による焼失（半焼以上）	80,000円	
	加入者の出稼就労先宿舍の火災で加入者に著しい損害を生じさせたもの	30,000円	

県立郷土館 行事案内

9月～10月

○青森県の古地図展

江戸時代から現代まで、青森、弘前、八戸の三市を対象に、都市図や街なみの写真で、その移り変わりを紹介します。

展示するのは、古地図、空中写真・昔の街なみ写真です。
● 期間 9月26日～10月18日
● 会場 郷土館大ホール

○日本伝統工芸秀作展

重要無形文化財保持者が製作した伝統的工芸品のうち、特に芸術性豊かで優秀な作品を公開します。

展示するのは、染織品、陶芸品、漆芸品、金工品、人形などです。
● 期間 10月24日～11月22日
● 会場 郷土館大ホール

○きのこ鑑定会

秋の味覚、きのこの実物展示と、食用か毒かの実物鑑定や講演会を開催します。

● 日時 9月27日
● 鑑定会 午前9時30分～12時
● 講演会 午後1時～4時
● 会場 郷土館小ホール

きのことり入山心得

きのこの季節です。山に入るときは次のことを守り、遭難事故を防ぎましょう。

- ① 天気予報を確かめる。
- ② 着かえ、雨具、マッチを準備し、食糧を多く持つ。
- ③ 家族に入山コース、帰宅時間、同行者を知らせる。
- ④ 地理のわからない山に入らないこと。
- ⑤ 自分の体力に合った行動をする。
- ⑥ 集合時刻・場所・コースをよく打ち合わせ、必ず守る。
- ⑦ 山に入ったら、お互いに呼びあつて位置を確認する。
- ⑧ 道に迷つたら無理して動かず、火を燃やすなどして救助隊に知らせる方法をとる。
- ⑨ 帰宅時間を過ぎても帰らないときは、警察に知らせる。

要精検・要治療とは

私たちが毎年受ける検査のひとつに、胸部レントゲン撮影があります。この検査はとくに肺結核と肺ガンの早期発見に大活躍するほか、循環器系の心臓や大動脈の状態を知るためにも必要です。

村では成人病検査として、胃や子宮ガンの集団検診も実施しています。これらの健康診断をうけたあとで個人票に、「正常・要注意・要精検・要治療」と書きこまれてきますが、これをどう解釈すればよいか今回は紹介します。

○正常

正常または異常なしという記入があれば、今回の検査の範囲内ではとくに異常と思われるところがないということです。しかし、無罪放免だと解釈して無

茶な生活や不節制を続けてはいけません。

○要注意(要観察)

今後の健康管理のうえで、じゅうぶん注意しながら経過をみていく必要があるということです。指示された点があれば、必ず守りましょう。一般に日常生活の注意と定期的な検査が主になります。

○要精検

検査結果が正常範囲よりもはみ出したり、異常と思われる点があるので、病気の有無・程度をさらに再検査や精密検査で確かめて下さいということです。集団検診する病気は、はじめに症状がなく、病状が出たときは重症になっていることが多いのです。

忙しいとか、面倒くさいといってそのまま放置すれば、結局損をするのはあなた自身です。せっかくうけた健康診断の意味もなくなりません。

○要治療

異常と思われる点があるので医師の治療が望ましいということです。医師はもう一度詳しく診察した上で治療に入りますので、主治医の指示に従って治療を受けてください。

治療を受けている方は、引き続き治療を続けるようにしてください。

○要精検・要治療は必ず病院へ

集団検診を定期的に受けることは、自分の健康管理と病気を早期発見するうえで、もっとも効果的方法です。忙しい毎日が続くみなさんですが、村で実施する集団検診には、ぜひ参加しましょう。

結果が出たら、必ずその指示に従ってください。とくに、要精検(要再検・要精密検査)と要治療の方は、必ず病院へ行くように。健康診断の受けっぱなしという人が以外に多いのです。その間に病状はどんどん進んでしまいます。検診結果を無視してはいけません。



行政相談所を開設

暮らしの中で、行政に対する苦情・要望・意見を受け付けし、住民の相談に応じる制度として、「行政相談員」がいます。当村では、今年四月から室谷清さんが委嘱を受け、みなさんの相談に応じています。

親切で迅速な窓口”を目指して、十月十一日から全国いっせいに行政相談週間が始まります。わが村でも次の日程で行政相談所を開設します。

役所の仕事に関して、

- 困っていること
- 納得のいかないこと
- 希望したいこと
- などについて、あなたの声をお聞かせ下さい。

◎相談所開設日

十月十二日～十月十六日
午前十時～午後三時まで

◎場所

蓬田村役場二階和室

胃の集団検診 便潜血検査 申込み方法

- 9月25日 役場前
- 9月26日 瀬辺地民生会館前
- 受付時間 午前5時～午前8時

村民の健康管理の一つとして、胃の集団検診と便潜血検査(大腸がん・消化管疾患)を実施します。早期発見・早期治療のためにも検診は積極的に参加しましょう。

- ◎胃の集団検診……40歳以上 検診料 1,200円
 - ◎便潜血検査……30歳以上 検診料 300円
- 検査を希望する人は、次の部落保健協力員へ、9月19日まで申込んでください。

中 沢	坂本	スナ	長 科	松本	ミキ
阿弥陀川	八戸	富枝	蓬 田	宮田	タキ
郷 沢	福井けい子	瀬辺地	越田	や 豆	
広 瀬	柿崎ユキエ	高 根	八幡	キヌエ	



村民祭テーマ 決定。和

11月21日～11月23日

蓬田村民祭実行委員会では、十一月に開催する村民祭の準備を進めています。今年のテーマは「和」。地域住民の和合の和。明るい村づくりの輪を広げようという願いがこめられています。

たとえば、子供も婦人も高齢者も出演する劇であれば、部落の大人も子供も一つのことに参加することになります。劇をつくりあげていく中で生まれたものが、部落のコミュニケーションづくりへとつながっていき、ことが期待できます。

実行委員会は、
村・議会・教育
委員会・婦人会・農
業後継者の会・中
子供会・小・中
学校・老人クラ
ブ・青年団・部
落長で構成し、
各種団体と行政
が一体になって
取り組む計画で
す。



呼吸を合わせ ハツケヨイ！

8月14日、長科部落のすもう大会が開かれました。試合は5人1組でチームをつくり、どのチームとも対戦するリーグ戦。青年会や振興組合など4組が出場し熱戦を繰りひろげました。お盆の最中とあって帰青客も多く、久しぶりにふるさとの雰囲気を楽しんでいました。この日の優勝は足腰の強さを誇る振興組合です。

時間	11月21日(土)	11月22日(日)	11月23日(月)
10:00	準備	開会式	芸能大会 各部落からの 出し物が楽し みです
11:00		意見発表 青年の主張	
12:00		作品展示コー ナーバザーを 見よう	
13:00		映画上映	閉会式
14:00		作品を鑑賞し よう	あとかたづけ
15:00		村民カラオケ 大会	
16:00	前夜祭 キャンプファイヤー		
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			
21:00			

内容

今年十一月二十一日が前夜祭。十一月二十二日から二十三日までの連休が村民祭です。「村民祭」となつてから三年め。これまでの積み重ねに、さらにアイデアを加え、村民総参加を目指したプログラムづくりを進めています。特に、展示作品や映画の鑑賞がゆつくり楽しめるように、時間的にも余裕をもった構成にしました。

◎意見発表

主な内容は次のとおりです。
子供会・青年会・農業後継者の会・婦人会・農協婦人部・

高齢者・部落長の中から一人ずつ発表者が出ます。青少年育成村民会議の事業の一つである青少年主張大会もこの中に組み込んであります。

◎催し物

盆栽クラブの盆栽展示。婦人会のバザーコーナー、いけ花。小・中学生の作品展示。映画の上映。夜にはカラオケ大会。最後の日は芸能大会で、各部落ごとに出し物を発表します。

◎食堂・喫茶コーナー

婦人会が食堂、青年会が喫茶コーナーを開きます。展示作品をひと回り見たあとは、コーヒーを一杯。



村民体育大会

1,000人の住民 大熱戦。

第23回村民体育大会が、8月2日総合グラウンドで開催され、約1,000人の住民がリレーやゲーム、綱引きに汗を流しました。住民からの要望として、部落対抗応援戦や仮装コンクールなど、部落独特の趣向を盛りこめるプログラムが欲しいという声も出ました。村民が一同に集まり交流する数少ない場です。積極的に参加しましょう。

ヤング

No.20

メッセージ



○郷沢・18歳

大宮 由美子

自分がどう変われるか 楽しみです。

私の家族は六人。うち学生・児童が合わせて三人。経済的に収入が少ない割には、いつも食べてばかりの私です。職場にまだ慣れていないせいか、やせたと喜んでくれる友人もいます。お客様の応対で精いっぱいのところですが……。

青年団は、行事があるにもかかわらず連絡がこなかったり、人数が足りない日に限って呼び出されたりの状態です。まだ直接には青年団活動に参加できず、私としてはもっと積極的になりたいと考えています。なかなかみなさんの中

に入りこめない性格ですが、できるだけがんばろうとしています。

体育館でバレーボールをするのが好きで練習に行ってみたくて、夜遅くなるので家で手芸なんかして楽しんでいきます。仕事が終わって家へ帰ると、五時ちよつと過ぎ。そのあとは妹たちの勉強の手伝いをします。青森市内へ通勤する人にくらべれば、この点が少し楽です。

掃りが早いにもかかわらず、どこへも行くことができません。土曜の午後や日曜は、友人のところへ出かけたり、買い物をするくらいで、なんとなくつまらない日を送っています。貯金して旅行に行こうと考えていますが、いつの日になるかわかりません。

まだ十八歳の私です。これからいろいろなことを勉強し若いうちに頭に詰め込んでおこうと思います。環境によって人柄も変わるそうですから、「愉快で楽しい人だ!」なんて言われるようになりたいものです。仕事のできるキャリアアウーマンでもいいですね。

自分自身、人の波にもまれてどう変わるかとても楽しみです。できるなら、良い方に変わりたいものです。



談話室

親 クラブ 通 信

— No.1



蓬田母親クラブ

佐々木 博子

蓬田部落に母親クラブが誕生したのは七年前。当時すでに活動していた子供会といっしょに運営してもよいと指導され、曲がりなりにも出発しました。

その後、二唐さんが県連の副会長になり、県全体の活動情報が入るようになりました。ところが、わが村の活動方法が、県の指導と少し異なることがわかり、改めて真の母親クラブのあり方を勉強し実践に移しました。今日の母親クラブの土台づくりが、ここから始まったと思います。

蓬田母親クラブでは、低学年以下の子供を主として、事業を進めています。ミニ運動会は、四年前から始めました。保育所・幼稚園・小学一年・二年生に適したプログラムを作り、親と子がいっしょに走

汗いっぱい流そう…ミニ運動会

小学二年生までは、次の子供会活動に入っていく準備期間と考えています。そのためにも、ミニクリスマス会のように、二年生の子供たちにローソクの灯をともしてもらい、子供会への希望を持たせ、子供会へをしました。私たちは奉仕活動として、遊び場の安全点検、草取り、清掃を行います。事故の起きない安全な環境づくりは、地域の人たちの責任でやるべきだと思っています。

最近、共働きが増えてきました。昨年の凶作もかなり影響しています。忙しさにまぎれ、子どもの声に耳を傾けるゆとりも減りました。

このむずかしい現状を乗り越えるためにも、母親クラブの使命として

朝は馬草刈りから

朝起きるなり、馬連れて草刈りに出かけます。草を六マ
ルギ刈れば一駄でした。

家にもどって朝飯のおかず
何あるかと思えば、菜の葉汁
にぬかづけ。それでも、腹減
らしてもどるのでおいしいと
思って食べました。

子どもに乳飲ませるちよつ
との時間が、体を休めるとき
です。「さっさと飲まへろ」と
声がかかります。まだ乳吸っ
ているワラシの口無理に離し
て外へ出れば、ワラシが泣き

ます。

春の田ウチは三本鉞でやり
ました。機械あるわけではな
し。

今考えればよくやったものだ
と思います。当時の苗代は水
苗代です。足キリキリとなる
ほど水しゃこぐても（冷たく
ても）、嫁はしゃこいと見え
ず

に苗代に入りました。
田植えもそのとおり。昔は
縄張って植えました。私は親
類の者と二人して、ぼったり
ぼらいだり（追ったり追われ
たり）、ハガマはがへるの、ハ

オリはがへるのといって競争
しながら植えました。二人で
一日に二反歩ほどの植付けで
す。

田の草取りは、三番草まで
取り、そのあとはヒエヌキを
しました。なんぼ押して歩く
機械ができて、稲の株と株
の間が残ります。そこを取る
には、どうしても人の手がか
かります。昼めしのと一服
しますが、他の人より早くと
ついで（とりかかる）もん
です。普通六日かかるところ
を五日で仕上げることができ
ました。みんな隣り近所の働
き具合・仕事の進み具合を見
ながら、競争していたんでし
ょう。

孫ができてババになりました。
昔は保育所がありません。
子どもを生むのは親でも、育
てたのは孫ババです。

そうしなければワケ
モノ仕事に出られま
せんから。

そのババの仕事は
ワラハドかであるだけ
でなく、飯したく・
洗たく・いわしの焼
き干しづくりまであ
り、見ためほど楽で
ありません。雨が降
ると焼き干しのオリ
ダしまいこむのがひ
と苦勞でした。

親子の対話、ふれあいの機会
を多くしたいと思います。純
真な子供たちを、地域ぐるみ
でのびのびと育てあげるよう
なお母さんのクラブ。そんな
活動のできる集団に、一歩前

進したいものです。



○語り部 郷 沢

高田 マメ (76歳)



学習活動として、隣接町村の母親クラブと、交歓研修を開催。

戸籍の窓



(蓬田村の人口：4,528人)

6月・7月受付分

◎お誕生おめでとうございます。

- 川内 麻紀 (哲郎・2女)
- 坂本 善信 (勇一・2男)
- 小林 勝 (秀勝・長男)
- 福田 瑞子 (修逸・長女)
- 福田麻衣子 (修逸・2女)
- 藤本美和子 (利則・長女)
- 八戸美由紀 (弘樹・長女)
- 木戸 智子 (準次・長女)
- 福井飛雄馬 (俊行・長男)
- 柿崎 勝士 (治己・長男)
- 藤田 正人 (定實・長男)
- 坂本 昌大 (茂・長男)
- 小鹿奈々恵 (正博・長女)
- 木戸 愛 (渉・長女)
- 八幡 英二 (秀雄・長男)
- 八戸 大樹 (和男・長男)
- 八戸 春香 (一男・長女)

◎ご結婚おめでとうございます。

- (上村 正也 (福岡県)
- (坂本 洋子 (中沢)
- (吉田 信行 (中沢)
- (栗林 恵子 (青森市)
- (宮本 壽郎 (蟹田町)
- (中川 寿美子 (郷沢)
- (武井 一磨 (蓬田)
- (工藤しが子 (長科)
- (青木 健一 (蓬田)
- (俵谷久美子 (青森市)
- (米田 行広 (板柳町)
- (坂本 祐子 (中沢)
- (小鹿 博文 (長科)
- (木村美由紀 (青森市)
- (川崎 順正 (広瀬)
- (竹口 雪美 (福井県)
- (越田 秀敏 (瀬辺地)
- (管野 朝子 (福島県)
- (山館 公司 (瀬辺地)
- (牧 拱子 (北海道)
- (武井 守人 (蓬田)
- (瀬野久美子 (山形県)
- (福田 幸生 (郷沢)
- (蝦名 幸子 (平内町)
- (佐藤 隆徳 (中沢)
- (高橋 和子 (青森市)
- (細谷弥一郎 (蓬田)
- (對馬なさ子 (青森市)
- (村上伊佐雄 (蓬田)
- (山田 文江 (青森市)



むらの生活誌
農具編 ①

タウエカダ

米をつくるには、まず土をつくることから始まる。冬に運んでおいた堆肥の山をくずし、モッコやエビザルで田一面にばらまく。風も暖かくなり、堆肥の臭いにむせかえる。次は荒起こし。馬を使っ前は、三本鋸を用いた。繰り返し二パウチ・サンパウチまでやった。水が入ると、馬にマンガをひかせて代かきが始まる。五月、雨が降る日も休まず、人も馬も泥まみれになって作業を続けた。馬を誘導する人をサヘドリといって、女がその役目をした。

田植えの日、男たちは朝早くから田の水を落として、カダマワシをする。カダのます目は七寸五分から、八寸くらいあった。

あとがき

台風十五号のつめ跡がいたるところに残りました。そのひとつが老松「股松」の倒壊です。(蓬田汐越)

樹齢約三百年。高さ二十三尺、周囲四・九尺。根元二・五尺上から別れた二本の太い枝。雄大な自然美を誇る松でした。

現在は付近の若木が繁り見えませんが、昔は漁師や帆船の目印として漁場の選定、航海の目標となったそうです。

自然から生まれたものが、膨大な自然の力で、土に帰っていく姿を見たような日でした。

◎お悔み申しあげます

- 坂本 大博 (中沢・67歳)
- 山谷 きせ (阿弥陀川・76歳)
- 坂本米五郎 (中沢・71歳)
- 吉田はつゑ (中沢・71歳)
- 工藤 光志 (蓬田・48歳)
- 越田 トミ (広瀬・80歳)
- 田中 キワ (広瀬・76歳)

- (坂本 雄一 (中沢)
- (川村ひとみ (北海道)
- (工藤 康茂 (青森市)
- (久慈 美雪 (広瀬)
- (北川 浩平 (青森市)
- (武井てつ子 (蓬田)
- (村上吉太郎 (蓬田)
- (鈴木 和子 (東京都)
- (山口 誓志 (瀬辺地)
- (中村しのぶ (青森市)
- (川嶋 善成 (中沢)
- (平野 礼子 (今別)